

第37回「女性会員の会」報告

The 37th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

5回目のハイブリッド開催となった第147回秋期大会中、11月9日(土)12:10~13:10に入退室自由の、第37回女性会員の会をハイブリッド形式で開催した。参加者は合計22名(女性18名、男性4名)。現地参加は18名、オンライン参加は4名だった。参加申し込みが間に合わず、飛び入り参加となった方も数名おられた。また、初参加は社会人1名と学生2名の計3名だった。託児室を利用したお子さんが1名参加し、にぎやかな会となった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。会場にはお弁当と群馬県のお菓子を用意し、4名が1組となり対面で話ができるような机の配置にして交流を図った。

お菓子：六連星(ムツレ) サブレ、360(サブロク) 焼き、はにわ焼き、ベビースター上州太田焼きそば味(世話人)、那須高原御用邸チーズケーキ(差入：阿部 智子さん)、小倉トーストラングドシャ(差入：Amalina Aina Binti Kaharudinさん)。

男女共同参画委員会ではより多くの会員が大会に参加できるように学会託児室を設置し、会期中にのべ7名の利用があった。

この場を借りて、群馬大学の半谷 禎彦 先生ならびに実行委員会の皆様に深く感謝申し上げます。

1. 自己紹介：氏名・所属、ひとこと

初参加者には簡単な自己紹介をした後に昼食をとりながら「リアルブレイクアウトルーム」と銘打ってテーマトークを行った。テーブルごとのグループとオンライン参加のグループに分かれて複数の提示テーマ(この秋やりたい秋らしいこと・やったこと、今年の楽しい体験、など)のうちテーマを選んで話をしていただいた。

1.1 グループごとの討議

「この秋やりたい秋らしいこと・やったこと」では上野で美術館巡りをした、キャンプに行ってきた、芋掘りをしたなどのさまざまな体験が語られた。「今年の楽しい体験」では夏に海水浴と花火大会を満喫した、数年ぶりに母国に帰国した、などの体験が紹介された。

少人数に分かれての討議は活発な意見交換の場になり、今回も予定時間を超えて盛り上がった。

オンラインは大会参加者向けのZoomと参加未登録者向けのmeet jitsiの併用を今回初めて実施したが、音声トラブルが

発生し、オンライン参加者の方々にご迷惑をおかけした。深くお詫び申し上げます。

1.2 フリー討議

中締め後に会場に残った数名に「男女共同参画事業でやってほしい企画」について意見をうかがった。育児に関する体験談は数年で事情が変化していくので、繰り返しやってほしいとの意見があった。また、男女共同参画セッションで20~30代の男性に興味をもっていただけるテーマがいいのでは、との意見があった。

2. 学会託児室

2011年に名古屋大学で開催した春期大会で初めて託児室を開設し、ここ数年は1~3名ほどの利用が続いている。3日間の会期中に継続して利用する方だけでなく、家庭の事情でスポット的に利用される会員もおられる。子育て中の研究者が大会に参加できる環境を維持するため、託児室の常設を継続していきたいと考えている。

3. おわりに

次の第148回春期講演大会でも女性会員の会の開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>

参加者の写真撮影(2024.11.9)